

第 21 期事業報告書

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

【公①：事業概要】

事業 1 農業の企業化に資する支援事業

農業経営及び地域農業の企業化をサポートするため、企業化に関する知見やノウハウの蓄積、専門家や団体等と連携した相談・指導・情報提供等、必要な取り組みを支援した。また、農業者や農村が抱える諸問題の把握につとめ地域農業の持続的な発展を支援した。

(1) 農業経営力向上事業

企業化に向けた経営力の向上や経営マインド、チャレンジ意欲の機運醸成等、地域農業の企業化に向けた多様な取り組みに対し必要な支援を行った。

①のぶし経営塾

開催日：2022 年 11 月 17 日～18 日

場 所：札幌市

テーマ：財務経理集中講座

参加者：14 名

②第 4 回次世代農業サミット

開催日：2022 年 12 月 6 日

場 所：札幌市

テーマ：家業から職業へ―農業を選ばれるシゴトに―

参加者：100 名

③のぶし経営塾

開催日：2023 年 1 月 26 日

場 所：札幌市

テーマ：女性リーダーの話を聞く会（株式会社 ウーマンメイク）

参加者：18 名

(2) 農業・農村ブランド化促進事業

商品開発、製造、販売などのノウハウの習得等の支援に努めるとともに、商品・企業の持つブランド力向上を図るために有効な、地域団体商標や GI 産品等の取り組みを促進した。

①地域ブランド化促進事業

地域団体商標等の取得に向けた取り組みを行った。

ア) 農産物ブランド化先進地勉強会

開催日：2022 年 11 月 7 日

場 所：今金町農業協同組合

テーマ：今金男しゃくブランド化について

参加者：4 名

イ) 地域ブランド確立促進支援事業（北海道経済産業局）

(第 1 回勉強会)

開催日：2022 年 11 月 25 日

場 所：蘭越町

テーマ：地域ブランドの確立と知的財産について

参加者：農家、商業者、農協ほか 14 名

(第 2 回勉強会)

開催日：2022 年 12 月 13 日

場 所：蘭越町

テーマ：地域ブランド確立事例紹介（JA 今金町）

参加者：農家、商業者、農協ほか 15名

（第3回勉強会）

開催日：2023年1月18日

場 所：蘭越町

テーマ：地域ブランドとブランディング手法（（株）ウィン）

参加者：農家、商業者、農協ほか 15名

（第4回勉強会）

開催日：2023年3月2日

場 所：蘭越町

テーマ：地域団体商標取得によるメリット等の共有（東川町役場）

参加者：農家、商業者、農協ほか 13名

（第5回勉強会）

開催日：2023年3月10日

場 所：蘭越町

テーマ：アクションプランの説明（Chaos ASIA 合同会社）

参加者：農家、商業者、農協ほか 16名

（3）食品安全及び環境保全普及啓発事業

農産物の安全や安心の確保はもとより、労働安全の観点に立ち、国際規格となっている GGAP 制度の認証取得・維持を図る。そのために、制度の説明会等の普及啓発事業、フォロー事業を実施した。

①農業生産に関する認証関連基盤整備

GGAP（農業生産工程管理）及び特別栽培農産物の認証関連基盤整備

2011年から取り組みを始めた、農産物（食品）の安全、労働安全、環境保全を柱とする国際規格である GGAP 認証取得（グループ認証）を推進するとともに農業生産工程管理法を浸透、継続させるため、各生産者に内部検査を行った。

また、農産物に対しての信頼性をさらに高めるため、特別栽培農産物の第三者機関による認証審査を行った。

ア) GGAP 認証維持

内部検査の実施（内部検査員による管理点検と不適合箇所に対する是正依頼）

実施時期：2022年7月～9月

対 象 者：生産者 87名、共同選果場 5か所、選果・加工委託業者 4社

イ) 第三者機関による認証審査

i) 更新審査

審査時期：2022年11月11日～25日

対象者：生産者 56名（抽出審査対象：青果 7名、穀類 4名）、GAP 事務局、
共同選果場 1か所、選果・加工委託業者 1社

認証機関：テュフズードジャパン(株)

更新認定：2023年1月11日

生産者 56名 青果 51名：玉葱 32名、馬鈴薯 8名、南瓜 7名、人参 2名、すいか 1名、メロン 1名

穀類 12名：小麦 8名、そば 4名

※青果・穀類重複生産者 4名、品目重複者 7名あり

共同選果場 1 か所、選果・加工委託業者 4 社

ii) 年次生産者審査の実施

審査時期：2022 年 7 月 11 日～14 日

対象者：青果 4 名、穀類 2 名、GAP 事務局、選果・加工委託業者 1 社

認証機関：テュフズードジャパン(株)

ウ) 説明会及び勉強会の実施

i) GAP 勉強会の実施

実施時期 2022 年 7 月

ii) 他、GGAP 認証生産者に対する説明会を都度実施

② 特別栽培農産物の第三者認証取得

審査時期：2022 年 7 月 28 日

対象者：生産者 60 名

認証機関：公益財団法人北農会

認定日：2022 年 12 月 26 日

生産者 52 名（玉葱 28 名、馬鈴薯 11 名、南瓜 18 名）

事業 2 地域農業に関する調査研究や農業情報の提供事業

北海道農業の安定的発展、企業的経営に資するため、専門的なノウハウやスキルを持つ組織・団体と連携して調査研究事業を行い、農業に係る政策や制度・地域連携・環境対応・海外進出等の情報を、財団が持つネットワークの機能を活用して広く提供した。

(1) 地域農業に関する調査研究事業

地域農業の持続的発展や企業的農業経営を図る上で、必要な制度や地域情報の収集・調査・研究等を行った。

① 有機農業を指向する新規就農者を積極的に受け入れている自治体で聞き取り調査

調査日：2022 年 6 月 30 日

場所：安平町

テーマ：有機農業を指向する新規就農者の受け入れ態勢など（安平町）

対応者：安平町役場産業経済課

(2) 地域農業に関する情報提供

収集・調査・研究等により得た情報の活用を促すため、農業に関する政策・制度等の各種情報を提供する。提供方法は WEB サイトに集約しデジタル媒体での「WEB 版-HAL だより」「電子書籍」の形態など、普及している技術動向も見極めながら実施した。

WEB 版 HAL だより（テキスト版）公開状況

| 公開日 | タイトル | 号数 |
|-----------------|-----------------------------------|-------|
| 2022 年 4 月 25 日 | 元明治大学ラグビー部監督丹羽政彦さん来訪 | 22-01 |
| 2022 年 5 月 25 日 | 第 17 回 HAL 農業賞贈呈式開催 | 22-02 |
| 2022 年 7 月 5 日 | 3 年ぶりに札幌花フェスタが開催されました | 22-03 |
| 2022 年 7 月 5 日 | HAL 財団 磯田理事長が取材を受けました | 22-04 |
| 2022 年 7 月 13 日 | WEB 版 HAL だより（動画版）制作中 | 22-05 |
| 2022 年 8 月 19 日 | HAL 財団 磯田理事長が取材を受けました | 22-06 |
| 2022 年 9 月 7 日 | WEB 版 HAL だより（動画版）制作中 | 22-07 |
| 2022 年 9 月 29 日 | WEB 版 HAL だより（動画版） アンビシャスファーム、町村農 | 22-08 |

| | | |
|-------------|--|-------|
| | 場 紹介動画制作中 | |
| 2022年10月4日 | 農業経営レポート “Seek out innovators” ～『水が無い乾田水田』のインパクトとは？～ | 22-09 |
| 2022年10月7日 | 渡辺陽子さん HAL 農業賞アンバサダー就任！ | 22-10 |
| 2022年11月4日 | 草野作工（株）のコラムに磯田理事長が寄稿しました | 22-11 |
| 2022年11月28日 | 3年ぶりの開催～2022 北国の鉢花まつりが開催されました | 22-12 |
| 2022年11月30日 | WEB版 HAL だより（動画版）制作中 | 22-13 |
| 2022年12月12日 | 新しい農業の枠組みを考えるトークセッション開催！ | 22-14 |
| 2022年12月12日 | 新しい農業の枠組みを考えるトークセッション 満員御礼 | 22-15 |
| 2022年12月21日 | 書籍紹介 『誰が農業を殺すのか』 | 22-16 |
| 2022年12月26日 | 年末年始のお知らせ！ | 22-17 |
| 2023年1月26日 | 新しい農業の枠組みを考えるトークセッションを開催しました | 22-18 |
| 2023年2月13日 | 書籍紹介「絶対悲観主義」 | 22-19 |

WEB版 HAL だより（動画版）公開状況

| 公開日 | タイトル | 備考 |
|-------------|---|--------|
| 2022年4月11日 | WEB版 HAL だより「夢の扉を開けませんか？ 第2話 海外経験を活かし 北海道農業の明日を考える」 | 制作：20期 |
| 2022年7月26日 | HAL 財団からのお知らせ | |
| 2022年7月26日 | 第17回 HAL 農業賞 | |
| 2022年12月5日 | 第17回 HAL 農業賞 都市近郊農業賞 Ambitious Farm 株式会社 紹介動画 | |
| 2022年12月20日 | 第17回 HAL 農業賞 北海道農業特別貢献賞 株式会社 町村農場 紹介動画 | |

(3) 啓発普及事業

農業者の経営者意識向上を目指すために、一般社団法人北海道農業法人協会とセミナーを共催するとともに、自主的なセミナー、講演等を企画・開催した。

①主催事業

開催日：2023年1月23日（月） 14時～18時

場 所：かでの 2.7 520 研修室において「新しい農業を考えるトークセッション」

参加者：事例紹介者（スピーカー）、アドバイザー：14名 一般参加者：51名

運営：6名 合計：71名

事業3 道民の希求と信頼に応える新たな事業の創出事業

道民の希求と信頼に応える新たな事業の創出に取り組むために、価値創造に資する事業を支援した。

(1) 農業や農村の持つ価値創造事業

公益財団法人はまなす財団と共同で行う等、農産物の価値や農業の持続性を高め地域農業の活性化を支援するための事業を実施した。

①地域づくり活動発掘・支援事業（地域農業連携枠）

事業実施団体

(2021年度採択)

・株式会社けんぶち VIVA マルシェ（剣淵町）

目 的：剣淵産キヌアの認知度向上と流通体制構築

・NPO 法人まおい学びのさと（長沼町）

目的：地産地消と食育の推進と地域づくり活動
(2022年度採択)

・十勝有機・カバー クロップ環境保全促進グループ（幕別町）

目的：100%オーガニック食材を使った給食普及推進

・縁の畑 共同販売グループ（長沼町）

目的：自然農法など特色ある栽培を行うグループによる、共同販売体制の構築

事業4 農業や農村の歴史や文化への理解と共感を深めるための事業

北海道の基幹産業である農業への理解を深めるために、地域が有する産業の歴史や生活の歴史・文化を通して、地域の魅力、農業の持つ魅力・奥深さを多くの人に伝えていく事業を広く道内で展開した。

(1) 映画「大地の侍」上映セミナーの開催

道内各地で「北海道開拓に係る講話」と映画「大地の侍」を組み合わせたセミナー上映会を開催。農業や農村に対する理解を広げるための取り組みを行った。

①上映セミナー実施状況

ア) 開催場所 札幌市ほか 19 市町

イ) 上映セミナー開催回数 58 回

ウ) 参加者総数 2,300 人

②道内各市町村、協力団体向け DVD の贈呈

ア) 市町村用購入枚数 179 枚 配布数 10 枚

イ) 特別協力団体等用 20 枚 配布数 4 枚

事業5 表彰事業

北海道農業の発展に多大な貢献、功績をあげた個人及び法人・団体を公募し、表彰することで、北海道農業を活性化し、農業の企業化を促進させることを目的に実施した。

(1) 「第17回 HAL 農業賞」贈呈式

第20期に決定した「第17回 HAL 農業賞贈呈式」を2022年5月20日（金）に JR タワーホテル日航札幌にて開催した。

受賞者

北海道農業特別貢献賞 株式会社 町村農場（江別市） 賞金 200 万円

都市近郊農業賞 Ambitious Farm 株式会社（江別市） 賞金 50 万円

(2) 「第18回 HAL 農業賞」表彰

①選考

選考委員会を2回開催して、受賞者を決定した。

第1回選考委員会

開催日：2022年12月9日（金）15：30～17：00

場 所：HAL 財団 会議室

第2回選考委員会

開催日：2023年1月11日（水）13：30～15：00

場 所：HAL 財団 会議室

選考委員会委員

委員長：一般財団法人 HAL 財団 理事長 磯田 憲一

委 員：北海道ア・ウォーター・アグリ株式会社 社長室長 竹林 孝 氏

| | | |
|---------------|--------|--------|
| 札幌どうぶつ専門学校 | 副校長 | 石島 力 氏 |
| 一般財団法人 HAL 財団 | 常務理事 | 田尻 忠三 |
| 一般財団法人 HAL 財団 | 公益事業部長 | 上野 貴之 |

②受賞者

| | | |
|-----|-----------------|----------|
| 優秀賞 | 株式会社嶋田茂農園匠（仁木町） | 賞金 50 万円 |
| 優秀賞 | 株式会社宇野牧場（天塩町） | 賞金 50 万円 |

③贈呈式

2023 年 3 月 3 日（金） JR タワーホテル日航札幌にて開催。

以上